

第385回生命科学セミナーのお知らせ

下記の通り生命科学セミナーが開催されますので、教員・院生・学生を問わず、多数ご参加下さい。

記

日時： 平成27年9月25日(金) 13:30~15:00

場所： 広島大学 総合科学部 J306教室

演題： 生体防御機構としての異物代謝の分子基盤

演者： 生城 真一 氏
(富山県立大学・工学部生物工学科・生物工学専攻)

《 講演要旨 》

低分子化合物に対する生体防御機構である異物代謝酵素系は、医薬品のみならず食物から取り込まれた非栄養性成分の代謝にも関与しています。特に野菜や果物などに含まれるフラボノイド化合物は分子内に複数の水酸基を含むことから、異物抱合の中でも中心的役割を担うUDP-グルクロン酸転移酵素(UGT)によって効率的にグルクロン酸抱合を受けて胆汁中あるいは尿中に解毒排泄されます。UGTは遺伝子ファミリーを形成しており、肝臓や小腸に複数の分子種が存在することで、多様な化学構造をもつフラボノイドの代謝を可能にしています。近年、この抱合代謝がフラボノイド化合物の体内動態及び生理機能に大きく影響を及ぼすことが示されてきており、医薬品代謝に加えてUGTによる食品成分に対するグルクロン酸抱合の分子機構が注目されています。そこで、本セミナーでは異物代謝酵素であるUGTの基礎的な知見に加えて、ヒトUGTにおけるフラボノイド抱合についての最近の知見を紹介させていただきます。

責任者 総合科学研究科・山崎 岳 (内線 6527)

主催者 生物圏科学研究科・清水典明 (内線 6528)

(注)生命科学共同セミナーを受講する生物圏科学研究科の院生は、特に積極的に参加してください。

(注)このセミナーは5研究科共同セミナーの一環として開催されます。

(注)このセミナーは総合科学演習または研究演習の一部として認められています。